



# 勞動者協同組合法

# Q 協同労働組合 助け合いながら地域社会

#### A 新たな取り組みについても注視する

**問** 生産資材価格の高止まりで、経営が困難になれる状況にある輸入農産物加工等の価格の値上げは毎月のように反映される。農産物取引における適正な価格反映の消費者への理解啓発をどのように考へているか問う。

問 多くの公共事業と共に農地の基盤整備事業を事業化し、変わろうとしている。しかし、事業範囲にならないところは取り残されてしまう。

①自治会からの要望の各事業（普通河川等）は、どのように事業展開をするのか。

②各事業の横のつながりをどのように考えているのか。

③各事業で各行政機関、各課で事業が推進されるが西部地域全体をとりまとめる部署は存在するのか。

**近江鉄道上下分離** 体制への移行 問 上下分離の移行が令和6年度よりスタートすることが決まっており、近江鉄道と管理機構の関係で管理機構は県・5市5町で費用負担も決定されている。町の負担割合は固定であるのか年度ごとに異なるのか問う。



# 補聴器購入補助制度

#### Q 実施される具体的な内容は

A 半額補助で上限3万円  
18歳以上で所得制限は設けない

**新型コロナワクチン接種**

**答**（ワクチン接種推進室長）  
国からの詳細な通知等が出されていない状況。令和6年度の接種にかかる費用も、令和6年度途中での予算の追加

**問** 種希望者への公費負担の実施。少なくとも65歳以上や妊産婦や基礎疾患がある人の費用負担をなくすために公費負担を拡大することを求める。

答  
(くらし安全環境課長)  
令和5年12月にフードドライブで提供された食品類

誰でもが資源の分別ができるよう、各集落でのゴミステーションでの収集を充実していただき」と要望する。

**あなたの一日  
プロデュース事業**

問 あなたの一日プロデュース事業を令和7年度からも引き続き行うことを求めます。

答 (福祉課長) 健康元気もりもり教室はスポーツ庁の先進事例に選ばれた町の名物事業である。引き続き地域の取り組みも推進しつつ、方向性を提示したい。

**原発事故発生に備えた  
安定ヨウ素剤の備蓄**

# ごみ減量化

## 令和5年度のフードダ

た。延べ47件のご協力があり、400kgの食品が提供され、可燃ごみの減量につながつたと考える。2年目にならる家庭ごみ15%減量化作戦は年2回の取り組みで、減少傾向となり、成果があつた。

**答** 補聴器購入への補助制度  
**問** 加齢性難聴による補聴器購入町補助制度が実施される場合、具体的にどのような内容になるのか。

を計上することになるため現段階では接種の制度設計もない状況での公費負担については考えていない。

た。延べ47件のご協力があり、400kgの食品が提供され、可燃ごみの減量につながつたと考える。2年目にな

## 補聴器購入への補助制度